

社会的知能を有する会話 AI メディアの実現に向かって

松山 洋一^{1,a)}

概要：これまで日米で「人間の会話」というものについて、科学的な観察と理論に基づいて深く理解し、それを「自己と他者の情報通信の過程=メディア」として捉えて工学的に応用するという立場で研究開発を行ってきました。高齢者支援ロボットからミーティングをファシリテーションできるロボット、ダボス会議でグローバルリーダーをホストする公式バーチャルアシスタントの開発プロジェクトに至るまで、社会的に洗練された会話 AI システムの開発への挑戦を通して、人間にとっての会話の本質的な価値というものを考え続けて来ました。今回の講演では、最新の社会的会話 AI のプロジェクトをご紹介しますと共に、来たるべき未来社会において人々と調和的に共存できる AI はどのようにデザインされるべきかについて皆さんと考えたいと思います。

キーワード：音声対話システム，自然言語処理，社会言語学，Human-Computer Interaction

¹ 早稲田大学 GCS 研究機構 知覚情報システム研究所
27 Waseda, Shinjuku-ku, Tokyo 162-0044, Japan

^{a)} matsuyama@pcl.cs.waseda.ac.jp